

ステークホルダーエンゲージメント S

エスビー食品グループの主要なステークホルダーは「お客さま」「生産者・取引先」「従業員」「株主・投資家」「地域社会・国際社会」「行政・NPO・協働団体」です。当社グループでは、持続的な成長と企業価値の向上を目指し、ステークホルダーの皆さまと積極的な対話を促進しています。建設的な対話を通じて、ステークホルダーの皆さまとの信頼関係を構築し、その期待や要請に応えるように取り組んでいきます。

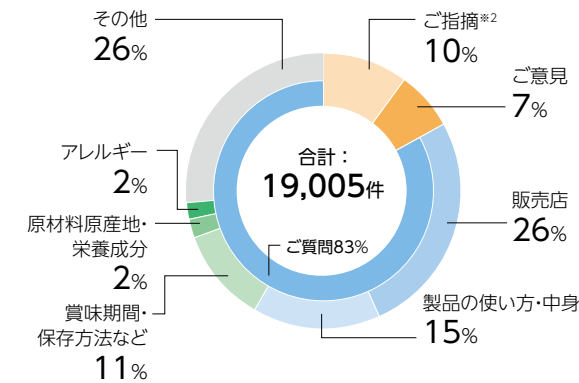
ステークホルダー	対話の機会の例(2024年度末実績)
 お客さま	・お客様相談センター(年間お問い合わせ件数19,005件) ・オンラインショップ「お届けサイト」 ・コーポレートサイト内レシピ(掲載数約8,200件) ・国内外SNS ・コミュニティサイト「SPICE&HERB COMMUNITY」 ・スパイス&ハーブわくわくチャレンジ ・Waプロジェクト(累計コミュニケーション人数のべ約111万人)
 生産者・取引先	・原材料生産先への訪問・現地調査 ・原材料調達先へのアンケート調査 ・生産農家との取組み ・有機・フェアトレード原料の展開 ・日々の営業活動 ・食品展示会への出展
 従業員	・従業員研修 ・社内報の発信 ・保健師・栄養士との面談 ・事業所内保育園「バジリック保育園」 ・S&Bホットライン ・労使間協議
 株主・投資家	・株主総会 ・株主通信 ・投資家とのミーティング(年間59件) ・IR情報開示 ・決算説明会 ・株主さま向けイベント
 地域社会 国際社会	・事業所内保育園「バジリック保育園」 ・子ども食堂支援 ・フードバンク活動 ・ベルマーク教育助成 ・S&B杯びっ子健康マラソン大会(累計完走者数のべ約158万人) ・地域イベントへの協賛
 行政・NPO・ 協働団体	・NPO法人を通じた食育活動 ・「あふの環プロジェクト」 ・官民連携食育プラットフォーム ・健康的で持続可能な食環境戦略イニシアチブ ・アトピック地球の子ネットワーク ・子ども食堂支援 ・フードバンク活動 ・「ツジツマシアワセ」プロジェクト

お客さまの声を反映する取組み

「お客様相談センター」はお客さまと当社グループを直接つなぐ重要な役割を担っており、2024年度には、19,005件のお問い合わせをいただきました。いただいたご意見は社内会議で報告されるほか、Compass System (コンパスシステム) ^{※1}を活用して関連部門にも共有され、製品やサービスの改善に活かされています。たとえば、ラー油製品に関して「ラク押しボタンの使い方が知りたい」との声を受け、ホームページにQ&Aを掲載したほか、一部のレトルトカレー製品では「開け口がわかりにくい」とのご指摘を受け、パッケージの改良を行いました。

さらに、お客さまから寄せられる嬉しいお声やご要望は、日々従業員に共有されており、業務への励みとなっています。こうした対話を通じて、より良い製品づくりとサービス向上に努めています。

2024年度お問い合わせ件数



※1 電話とコンピューターを統合する仕組みを利用して、お客さま情報やお問い合わせ内容を一元管理するシステム
※2 不都合品に対するお申し出のこと

フレッシュハーブ事業を支える生産者とのパートナーシップ

2024年10月、沖縄におけるハーブ契約栽培の35周年を記念し、「ハーブ契約栽培35周年記念式典」を開催しました。JAおきなわ、契約農家、行政の関係者など総勢54名が出席し、長年にわたる協働の歩みを振り返りました。式典では、フレッシュハーブ事業の発展を支えてくださった生産者の皆さまに、感謝状と記念品を贈呈し、これまでのご尽力に対する感謝の意を表しました。また、参加者同士が交流をすることで、関係性の深化につながる機会となりました。



今後も、全国の生産者とのパートナーシップを大切にし、フレッシュハーブのおいしさと香りを全国のお客さまへお届けします。

従業員とご家族を対象とした体験型イベント

2024年7月、板橋スパイスセンター内のスパイス展示館にて、従業員とご家族を対象とした体験型イベント「スパイス&ハーブわくわくチャレンジ for S&B Family」を開催しました。当日は総勢85名が参加し、会社の歴史やスパイス&ハーブの魅力について、展示資料やクイズ、五感を活用した体験を通じて楽しく学びました。参加者からは「家族で楽しく学べた」「会社のことをより身近に感じられた」などの嬉しい感想をいただきました。



引き続き、従業員とご家族が会社に関心を持てる機会を積極的に創出していきます。

株主さまとの関係構築に向けた新たな取組み

2024年9月、株主さまとのダイレクトコミュニケーションの一環として、初の試みになる「スパイス展示館見学会」を板橋スパイスセンターで開催しました。当日は通常非公開のスパイス展示館を見学いただき、100年にわたる当社の想いや製品開発のこだわり、歴史に触れていただきました。また、オリジナルカレー粉づくりを通じて、スパイスの奥深さを体験していただきました。参加者からは「貴重な体験だった」「より商品が好きになった」とのご感想をいただき、企業理解と関心の深化につながる機会になりました。今後もIR・SR活動を通じて、株主さまとの関係構築に取り組んでいきます。



地域社会とのつながり

エスビー食品グループは、地域社会とのつながりを深めるため、事業所のある地域を中心にさまざまな取組みを行っています。2024年度は、地域の方々の交流の場にもなっている「子ども食堂」において、スパイスやハーブの魅力を伝えるプログラムを実施しました。子ども達がスパイスやハーブの香りを体験しながら、食の楽しさを学ぶ機会を提供することで、健やかな成長を支援しています。

また、東松山工場(埼玉県東松山市)および宮城工場(宮城県登米市)の近隣で開催された産業祭に出展し、従業員が地域住民の方々との交流を図りました。これらの活動を通じて、地域社会とのつながりを深めるとともに、当社グループのビジョン実現を目指しています。

